



いつものように
バケツをだっこ
させました

これがリアルな疑似吐物、つぶつぶもあります…



こちらのグループは、
はじめにエプロン
つけてみた。

こちらは…
あら？
後ろを結んでもらって
いるかな？

先生、頑張って！

- ①消毒液をかける。
- ②吐物を新聞で覆う。
- ③踏む
- ④ふき取る

あーでもない、こーでもない
相談しながら、処理してい
きました。

一応やってはみたものの
…「これで、いいの??」
というわけでー



4. 講師による実演

児童役は10名の先生方

実際の教室は、子どもたちが30～40人で、さらに机やかばんがありますが、簡略化して実演しました。



どきどき
どきどき



今日の先生は伊藤先生です。

さて、ある日のことです。
たいへん！！
教室で気持ちわるくなって、
子どもが吐いてしまいました！

うええ～

きやあ～

「あらあら、大丈夫？」
その時、先生はひらめきました。
「今はノロウイルスが流行しているから、もしかしたら…」

先生は、自分のハンカチで口を覆いながら、吐いた児童の側へ行きました。



先生、たいへん！！



騒ぎを聞いて、隣のクラスの竹内先生と泉先生が駆けつけました。
「大丈夫ですか？」

先生は、足袋とエプロン、手袋をしてから、教室に入りました。



周りの子ども達へはマスクをくばりました。
「大丈夫だよ。」

伊藤先生も足袋とエプロン、手袋をつけ子ども達の手当てをしていきます。



吐物には飛散防止のために新聞紙で覆い、その上から塩素の入った消毒薬をかけました。

「また吐きたくなったら、この袋に入れてね」

ビニール袋

